「市民活動団体のためのインボイス＆会計講座」

わからない！を楽しく
一緒に棚卸ししましょう！

10月から導入されたインボイス制度について、実例も交えた解説やアドバイスがいただけます。
NPO法人、小規模事業者のための会計の基礎講座です。

講師：杉本浩志氏（杉本総合会計 代表）

2024.1.13（土）　定員 30名
10:00～12:00

大津市市民活動センター大会議室

参加費
・市民活動団体 /800円（資料代込）
・個人事業主などその他 /1,800円（資料代込）

主催 申込
大津市市民活動センター
TEL: 077-527-8661（月~土・9時~19時）

詳細・Web申込はこちらから

「大津・SDGs協働支援チャリティプロジェクト2023」協賛企業

本プロジェクトは多くの協賛企業のご支援により実施しています。

アインズ株式会社
まちのエコロジーステーション 油藤商事株式会社
Flower produce ichica 一花
叶匠壽庵
古紙を大切にするリサイクル産業 黒田紙業株式会社
小林事務機株式会社
コープ自然派
SHIGA BANK
きっかけは、その保証でありたい 滋賀県信用保証協会
SHIGATAN Shiga Junior College
DYNAMIC SHOKEN 株式会社昭建
正和設計 SEIWA 株式会社
大樹生命保険株式会社
Biwako Kisen
藤野商事株式会社 FUJINO GROUP
HEIWADO
さっぱホームデリバリー京滋
滋賀銀行 保険共同募集会社 レーク商事株式会社

みんなで楽しく！！ベビーリトミック

会場：明日都浜大津1階
対象：生後3ヶ月から就園前頃まで
参加費：1回500円
問合せ：070-5266-2890
講師：七蔵司きよみ
（保育士・リトミック講師）

大津リトミックグループ
保育士・音楽教室講師によるメンバー構成で毎月、明日都浜大津で開催しています。

編集後記

編集担当のYです。取材にご協力下さった団体の皆様。そしてプロジェに携わってくださる企業、大学、団体の皆様に深くお礼申し上げます。

世界の情勢が目まぐるしく変わる中、家族や友人とすごす当たり前の毎日が「平和」がどれだけかけがえのないものかを噛み締めています。「平和」が世界中の誰にとっても当たり前に、そして簡単に手に入るものになってほしいと願う日々です。

発行 大津市市民活動センター
大津市浜大津4-1-1（明日都浜大津1階）
077-527-8661　moveinfo@movementotsu.com
Web　facebook　instagram

もーぶん、けくっ

平和な未来をつくる責任

大事な暮らしの中にあるCHECK IT OUT!（注目）なヒト・モノ・コトを発信する情報誌

Vol. 30
2023.November　AUTUMN
大津市市民活動センター

今こそ平和を

市民団体と学生のチャレンジ

今、世界情勢はとても不安定になっています。日本は戦後から4分の3世紀が過ぎ、戦争体験を伝えることが難しくなってきています。

大津市市民活動センターが主催する「大津・SDGs協働支援チャリティプロジェクト」は6年目を迎えました。今年度のテーマは「平和と公正をすべての人に」です。そして支援先の2団体も決まりました。

どちらの団体も「子どもたちに」と活動しておられます。

あなたも参加されませんか？

16 平和と公正をすべての人に

Take Free

支援先団体について

2023 年度のテーマは「GOAL16. 平和と公正をすべての人に」。
チャリティの支援先として採択された 2 団体は、共にこれまでそれぞれの分野で平和や公正について取り組んできた団体が実行委員会などを立ち上げて活動されます。子どもやスポーツ、海外での取り組みなど多彩な活動の内容と協働する醍醐味について語っていただきました。

大津・子ども歴史探検実行委員会

大津は東京や大阪に比べて大きな空襲はなかったと言われますが、軍港や軍需工場があり、終戦間近には模擬原爆の投下による東レの爆撃がありました。また戦後も GHQ による接収など、市民生活にも大きな影響がありました。

戦争について知っている方の高齢化が進む中、子どもや若者世代に体験を伝えていく機会が少なくなりつつあります。この事業では、戦前戦後の大津の歴史を伝えることで平和な社会を作っていきたいと考えています。

みんな「オトナリさん」委員会

大津は 2022 年度の外国人住民が 4751 人で全人口の 1.4% を占め、多様な国籍の方が住んでいます。今後も国際化が進む中で、さまざまな国や民族の歴史や現状を知り、相互理解がますます重要になってきています。

このプロジェクトでは、大津の外国籍の住民はもちろん、世界中の市民が 隣人として「オトナリさん」と助け合える公正な社会づくりに向けて交流イベントや講演会を開催します。戦前戦後の大津の歴史を伝えることで平和な社会を作っていきたいと考えています。

大津おやこ劇場

1975 年から半世紀近く、テレビが普及する中で、子どもたちが生の舞台劇や芸術に触れる機会を作って来られました。子どもの親を「おとうさん・おかあさん」ではなく、「○○さん」と呼んで、世代や地域、学区を超えて交流できるのが特徴です。特に親と子どもで一緒に感動体験を味わってほしいです。

スタッフの森本さんは、「この事業でたくさんの子ども達と戦中戦後の話をし、大津を知ってもらうきっかけになれば」と話しておられました。

大津おやこ劇場
森本さん

びわこテクテククラブ（新日本スポーツ連盟滋賀県連盟・ウォーキング）

活動を開始して今年で 16 年目ほど。多くのウォーキングサークルは、黙々と歩くのですが、ここはリーダーが下見をして、お寺やまちの文化を説明してくれて交流できるのが特徴だそうです。

星さんは「平和だからスポーツができます。平和が脅かされそうになるこの時代だからこそ、スポーツマンが大きく声を上げていくことが大切。毎年 8 月にはピースウォーキングもしています。この事業でお子さんや親に平和の大切さや大津のまちを知ってもらいたいです」と話されました。

びわこテクテククラブ
星さん

しなやかシニアの会

2000 年に「シニアだからこそ興味のあることに自分たちで企画して、自分たちで楽しむ」をモットーに活動を開始され、会員は 100 名ほどです。これまでも 8 月に平和をテーマに催しを行っておられました。戦争体験を話せる人が少なくなってきたため、かなり貴重な体験だったとのことです。

佐藤さんは「戦争を風化させず、これからの子どもに伝えるために、この事業でほかの団体や親とのつながりを作っていきたい」と楽しみにしておられました。

しなやかシニアの会
佐藤さん

京滋・モンゴル友好市民ネットワーク

モンゴルの市民文化交流事業を通じて、モンゴルの都市化による貧困を目にしました。4 年ほど前に会を立ち上げて、現地の団体と生ごみを堆肥にし、野菜を栽培する循環型社会を通して改善に挑んでいます。

柳原さんは「行政でなく市民主体がポイント。人の間の差別は、大抵の場合、大人が差別意識を持つので、子供に伝わるのであってまずは大人が情報のうわべだけを見ないよう、本質を見極めることを伝えることが必要です」と語られました。

京滋・モンゴル友好市民ネットワーク
柳原さん

三井寺オーガニック・つながるマーケット

「子どもや私たちに安全なものを交換する場所を」と、2012 年から三井寺の境内の一角で第 3 日曜日に開催しています。野外寺子屋はゲストと一緒に社会についておしゃべりする会です。「出店者の皆さんが本当にいい人。子どもたちが楽しそうに遊んだり、ここで農業に親しむ人ができたのが嬉しい」と村上さんは微笑みます。

「SDGs という世界的な号令よりも、差別が生まれる原因や環境破壊を自分に引き寄せて考えて、価値観を共有するほうが大切では」という問題提起をいただきました。

三井寺オーガニック・つながるマーケット
村上さん

日和寺子屋おおつ

外国にルーツをもつ子どもの居場所を作りたいという思いで、在日歴も使用言語も様々な子ども、保護者の方と広く一緒に活動し、教科学習支援や進路相談等を行っています。和やかな雰囲気のなか、参加者どうしの交流も生まれ、ボランティア自身も多文化共生について考える大事な場所となっています。

「オトナリさん」事業では、様々なルーツをもつ人の状況を身近なこととして伝え、支援を必要とする人や、新たなボランティアとつながっていきたいです。

日和寺子屋おおつ
塚本さん

ホスの会

在日コリアン→朝鮮半島にルーツがある一世の高齢者の集まりで、今年 20 年を迎えました。1 ヶ月に一度「1 日を楽しむ会」として、健康体操をしたり韓国料理を食べながら、安心して韓国語を話す環境、温かく心のこもった料理を食べられる時間を仲間と過ごしています。厳しい差別を生きて来た在日一世コリアン高齢者のかけがえのない場所です。この事業を、在日コリアンの苦労や歴史を広く共有し、対等に共に生きていく社会をつくるきっかけにしたいです。

ホスの会
川﨑さん

滋賀短期大学からのインターンシップ

毎年、滋賀短期大学の学生さんが大津市市民活動センターにインターンシップに来てくださいます。今年度は、1 回生の久保田さんと前田さんがミニコミのインタビューに挑戦。2 人とも自分が『平和や公正』について考えたのは、子どもの時に「はだしのゲン」や「火垂るの墓」を見たことがきっかけになったそう。ミニコミを通して「平和やその取り組みについてどんなことを市民に知ってもらったらいいか」「団体に聞いてみたいこと」など事前準備で探っていきました。

初挑戦にもかかわらず、真摯に取り組んでくれた二人。素敵な笑顔をありがとうございます。これからも頑張ってくださいね。

前田さん

三井寺のマーケットの雰囲気がとてもよいことに驚きました。スタッフや出店の皆さんが商品のこだわりを教えてくれてフレンドリーでした。沢山の人に一度マーケットに来て、体に安心安全なものを手に取ってほしいです。平和や公正のための素晴らしい場になると思いました。

久保田さん

戦後四分の三半世紀が経ってもなお、差別や紛争が続いているこの世の中で、国際交流や多文化共生を広めるために活動される方々にお話を伺うことができました。「文化や価値観が違えど、同じ人間同士、いざという時に助け合えるように」という言葉に感動しました。